

Canforo

カンフォロ

愛媛県美術館ニュースNo.28 2005

No. 28

Exhibition 企画展 1

ダリの宇宙とシュルレアリスムの巨匠展

平成18年2月10日[金] - 3月26日[日] 月曜日休館(ただし、3月6日(月)は開館、翌日休館)

- 会場/新館1階[企画展示室]
- 観覧料/大人1,200円、高大生800円、小中生600円
- ※その他料金設定については、美術館までお問い合わせください。

この冬、20世紀を代表する芸術家サルバドール・ダリとシュルレアリスムの巨匠たちの作品が当館にやってきます。日本全国の美術館から集められた名品190点余り。その魅力と展示の見どころを速報します。

—ダリってどんな人？

1904年スペインのフィゲラスに生まれました。フィゲラスのあるカタルーニャ地方は、独自の言語や文化をもち、スペインでも異色の土地柄です。この地域の乾燥した平原や広々とした海、強烈な陽光により生まれる明暗のコントラストは、ダリの描く世界に強く影響しているようです。画学生時代のダリは、内気ながら奇抜な格好や意表をつく発言で周りの人々の注目を集めていました。印象派やキュビズム、未来派など、様々な描き方を試みたのち、自分の記憶や心の奥深い部分を描き出すようになります。

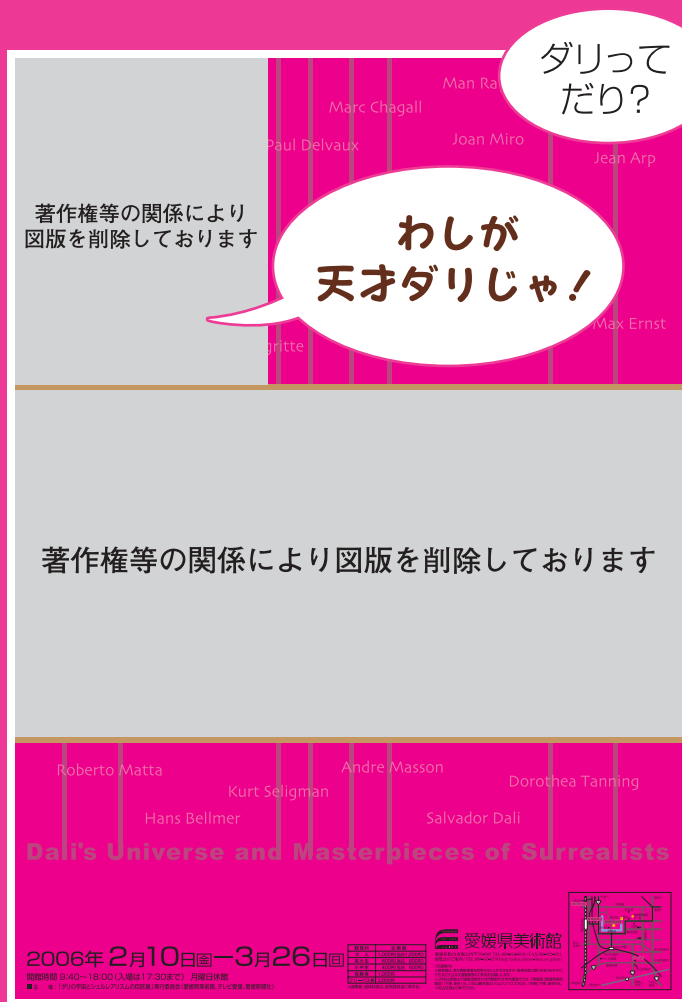
—ダリ作品の見どころは？

今回出品されるダリの油彩画は、国内コレクションの優品により構成されます。シュルレアリスムの画家として認められた1930年代に始まり、アメリカで活躍した時期の作品、そして量子力学の影響を受けて科学的なイメージを織り込んだものまで多彩な内容となっています。一見して強烈なインパクトを与える作品ばかりですが、画面の隅々まで丹念に仕上げる職人的な技術にも注目して頂きたいものです。また、柔らかい時計や燃えるキリンなど、独自のモチーフをちりばめた《ヴィーナスの夢》は、幅約5メートルに及ぶ大作で、展示空間を圧倒します。本展では、版画、素描、彫刻作品もあわせて展示することで、ダリの芸術世界を様々な角度からご覧頂きます。

—シュルレアリスムの巨匠たち、その魅力とは？

抑制された思考を解放し、「超現実」=シュルレアルの世界を表現するシュルレアリスムの作家たち。本展では、マックス・エルンスト、ルネ・マグリットら13人の作家の活動から、絵画、版画、写真、コラージュなど、多様な手法による作品をご紹介します。実験精神にあふれるシュルレアリスムの巨匠たちの作品は、見る人の感性を刺激してくれることでしょう。

学芸員 箱田 千穂



展示会ポスター(図版:サルバドール・ダリ《ヴィーナスの夢》1939年 油彩・カンヴァス・板 広島県立美術館蔵)

関連事業

「ダリの宇宙とシュルレアリスムの巨匠展」まるごと講座
ダリってだり?まるごと講座でシュールな世界に突入!!

- A. じっくりダリ (大人編) 2/26(日) 10:00~12:00
- B. びっくりダリ (子ども編) 3/5(日) 13:30~14:30
- C. くらべてダリ(子ども編) 3/12(日) 13:30~14:30

- 対象及び定員/A:高校生以上・60名、B:小学4~6年生・15名、C:小学4~中学3年生・15名
- 資料代/A:無料。ただし、企画展観覧券が必要。B・C:各100円程度
- ※要事前申込。本紙「講座案内 各講座の申込方法」を参照。

愛媛の名工 ふれあい展 I

会期：平成18年1月6日[金]～29日[日]
 休館日：1月10日[火]、16日[月]、23日[月]
 会場：新館1階[企画展示室]
 観覧料：大人300円(240円)、高齢者150円(120円)、
 身障者大人150円(120円)

※()内は団体(20名以上)料金。※友の会会員、高大生、小中生等は無料。

当館では、3年連続で「愛媛の名工 ふれあい展」の開催を予定しております。この展覧会は、本県で長年に渡り、伝統的な工芸品の制作に従事してきた、匠の技を紹介するものです。郷土の工芸に焦点を当てた展覧会は、平成10年の新館開館以来、初めての試みとなります。

第1回目の今展では、焼き物、金工を中心に、10人の作家による作品約100件を展示します。出品作家は、砥部焼の松田哲山、酒井芳人、工藤省治、米田南光、白瀧八洲彦、菊間瓦の柚山高勝、菊地壮三郎、建築板金の久保賀運、和釘の白鷹幸伯、新居浜魔鏡の高橋妙龍です。愛媛の風土の中から生まれた工芸品の数々を、この機会に是非ご高覧下さい。 学芸員 武田 信孝

著作権等の関係により
 図版を削除しております

工藤省治 砥部町中央公民館の陶壁画 昭和53年(部分) ※写真(筆者撮影)は展覧会のイメージです。

実技講座「めざせ!!匠」

砥部焼作家、菊間瓦作家の指導により、A:陶板にデザインして染付、B:独自の鬼瓦を制作、焼成。その後みんなで展示・鑑賞してみましょう。

- 日時：A/平成17年12月3日(土)・平成18年1月9日(月・祝)
 B/平成17年12月4日(日)・平成18年1月9日(月・祝)
 各1日目14:00～16:00 各2日目13:00～16:00(全2回)
- 対象及び定員：小学生以上(A:50名・B:20名)
- 材料費：A・Bとも600円程度 ※要事前申込。本紙「講座案内 各講座の申込方法」を参照。

作陶実演「ロクロ成形」

- 作家：白瀧八洲彦氏(砥部焼)
- 日時：平成18年1月7日(土) 11:00～、13:00～、15:00～(各回約40分)
- 場所：南館[実技教室]

連続講座「愛媛の工芸技術」

- 講師：第1回 白鷹幸伯氏(和釘) 第2回 高橋妙龍氏(新居浜魔鏡)
- 日時：第1回 平成18年1月15日(日) 第2回 平成18年1月22日(日)
 14:00～15:00(各日共通)
- 場所：新館1階[講堂]
- 対象及び定員：一般(120名) ※当日先着順

もの派—MONO-HA

会期：平成18年1月25日[水]～5月上旬(予定)
 休館日：毎週月曜日(祝日及び振り替え休日、
 第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館)
 会場：新館2階[常設展示室3]
 観覧料：大人300円(240円)、高大生200円(160円)
 ※()内は20名以上の団体割引料金。小中生・高齢者・障害者・友の会会員等は無料。

紙を突いて穴をあけた作品、そして板を刻んだ作品。これらはもの派の代表的作家である李禹煥の「突きより」「刻みより」です。シンプルかつ斬新な造形が目を引きまします。「もの派」とは、1970年前後に若い美術学生たちの間で生まれたひとつの芸術運動です。これらの作家たちは、画布の上に作品を描くのではなく、紙や木のようなありふれたものに手を加え、そのまま作品として発表しました。物質社会の中で、当時世界各国で類似した動きが見られ、美術史の大きな流れを形成しています。今回は宇和島市出身の作家である、小清水漸の作品を始め、当館が所蔵するもの派の作品とともに、個人の方からも作品をお借りして展示する予定です。

著作権等の関係により
 図版を削除しております

著作権等の関係により
 図版を削除しております

李禹煥《刻みより》1972年

李禹煥《突きより》1973年

学芸員 杉山 はるか

めでたきかたち—吉祥と寿ぎの美

会期：平成18年1月14日[土]～3月12日[日]
 休館日：毎週月曜日(ただし、2月6日、3月6日は開館し、翌火曜日が休館)
 会場：愛媛県美術館分館 郷土美術館2階
 観覧料：大人100円(80円)、高大生50円(40円)
 ※()内は20名以上の団体割引料金。小中生・高齢者・障害者・友の会会員等は無料。

古来、日本人は、正月や子どもが誕生した時などといった季節や人生の節目ごとに、福を招くとされる図柄を絵画や工芸品にあらわして、身のまわりを飾ってきました。例えば長寿を表す鶴亀やお祝い事に欠かせない松竹梅などは、おめでたいシンボルマークとして現在でも定着していますが、その他にも植物・動物・故事などさまざまな題材があしらわれた美術品には、幸福な生活が永続するよとの人々の願いが込められています。

本展では、新春にふさわしく、所蔵品の中からこうした吉祥・招福を示す“めでたきかたち”が描かれた日本画を選んで紹介します。一年の始まりに、縁起のよい美術品に触れ、福を呼び寄せてみてはいかがでしょうか。 学芸員 長井 健



妙庵普泉(寿老人画賛) 享和2(1802)年

「聖徳太子と国宝法隆寺展」
家族プログラム

たんけん!はっけん!法隆寺!!

修了証ステッカー

美術館では、この夏の企画展「聖徳太子と国宝法隆寺」の開催に伴い、8月中の毎週土日に、小中学生とその家族のみなさんを対象にした家族プログラム「たんけん!はっけん!法隆寺!!」を実施しました。このプログラムは美術館から出される3つの指令「①法隆寺の宝物をずっと大事に守っていくためにはどうしたらいいと思う?」「②聖徳太子の絵や彫刻を見て、同じところ違うところを教えて!」「③法隆寺式瓦ってどんな瓦かな?スケッチして来て!」について、子どもたちが法隆寺展を自分の目でじっくり見ながら考えて、各展示室で待っているプログラムスタッフに自分の考えたことを話しに行く、展示を中心に美術館のスタッフと「対話」を行うというもの。期間中プログラムに挑戦して、自分の力でクリアした子どもたち(ぜひにと参加された大人のグループもありました)は全員で557名!展示室での子どもたちの真剣なまなざしが、とても印象的な夏休みでした。主任学芸員 鈴木 有紀



自分の力で修了!おめでとう!

堀之内夏休み3館共同企画 恐竜であそぼ

ダンボールザウルスとコッパドンをつくろう

【平成17年8月12日(金)~15日(月)】

堀之内には社会教育施設として、図書館、博物館、美術館があります。この夏、「恐竜」を共通のテーマに3館で夏休みに子どもたちが楽しめる事業を展開しました。

美術館では「つくる」という切り口で、自由な発想で恐竜を作る「ダンボールザウルスとコッパドンをつくろう」を実施しました。ダンボールザウルスでは、その名のとおり、ダンボールを主要な素材として、参加者全員で大きな恐竜を作りました。出来上がった恐竜は、子どもたちの豊かな想像力が随所に表れ、例えば、胴体の側面を開くと工作した内蔵や骨が見えるようになっていたり、体の一部に子どもが入り込める遊びの空間を作ったりしていました。しばらく、ダンボールザウルスは美術館の中庭に生息し、みんなの人気者となりました。コッパドンでは、これもその名のとおり、木っ端を主要な素材として、その木の持つ形や色を生かして、個々に恐竜を作りました。自分の恐竜というイメージにこだわりながら、材をうまく使って個性的な恐竜が生まれました。

この夏、自由な発想で生まれたユニークな恐竜たちが、時を超えて美術館に蘇りました。主任学芸員 石崎 三佳子



I N F O R M A T I O N
みんなで開催しよう! 講座 & アトリ工展 【会期:平成18年2月7日(火)~2月16日(木)】

3年に1回のペースで開催している講座 & アトリ工展では、美術館の講座に参加して制作した作品やアトリ工を利用して制作した作品を募集し、展示します。これはみんなで作り上げる展覧会ですので、自分に合った参加の仕方を見つけて、一緒に盛り上げてみませんか。

その1 作品を出品しよう

平成15年4月以降に、当館で開催した講座で制作した作品、当館のアトリ工を利用して制作した作品を募集します。出品の申し込みは平成18年1月11日(水)まで。

その2 講座に参加しよう

※要事前申込。
本紙「講座案内 各講座の
申込方法」を参照。

●展覧会ができるまで~講座 & アトリ工展をつくろう~

「講座 & アトリ工展」の企画から展示までを行います。美術館の裏舞台を体験してみませんか?
○2/4(土)・5(日) 各10:30~16:00(全2回) ○中学生以上・15名

●ダンボール小屋を作ろう

会場にダンボールでみんなが入れる小屋を作ろう!
○2/4(土) 13:30~16:00 ○小学4~6年生・20名

その3 展覧会をサポートしよう

展覧会会期中の会場受付及び最終日の撤収等をお手伝いしていただけるボランティアの方を募集しています。

申込み等の詳細については、美術館普及係まで。



美術館日記 「美術館の裏側・・・」

今回は、美術館を支えるスタッフの第一弾として、警備員さんにスポットを当ててみました。お話を伺ったのは、チームの大森雅彦さん。

●お仕事の内容は? 「まず美術館の財産と、館内の人々の生命を守ること、そして建物の施錠や照明、空調の管理を行うことです。スタッフ数も、365日24時間体制で勤務しています。」

●大切にしていることは? 「安全に対し万全を期することはもちろんですが、芸術を愛するお客様に対し、いつでも最高の接客をめざすことです。必要以上の厳格さは控えるよう心がけています。」

●警備員を代表して一言。「館内で私たちを見かけたなら声を掛けてください。いかめしく見えても素顔は全員穏やかで、ほっとしますよ。」

<インタビュー> 学芸員 杉山 はるか



		11	12	1	2
展覧会					
企画展示室		館蔵品による特集展示 野間仁根展 TOPICS.1 -12/11(日)		愛媛の名工 ふれあい展 I P.2 1/6(金)-1/29(日)	ダリの宇宙とシュル レアリスムの巨匠展 P.1 2/10(金)-3/26(日)
常設展示室	1.日本画・書	富岡鉄斎と天野方壺 -11/27(日)	江戸時代の松山藩絵師 松本山雪の屏風 11/29(火)-1/22(日)	山水画 1/25(水)-3/19(日)	
	2.洋画	個性のめざめる時-二科会の画家たち----- -1/22(日)		静物画の魅力 1/25(水)-5月上旬	
	3.現代美術	Modern Art in Ehime -1/22(日)		もの派 P.2 1/25(水)-5月上旬	
特別展示室	1.西洋美術	19~20世紀の絵画・彫刻Ⅲ -1/22(日)		19~20世紀の絵画・彫刻Ⅳ 1/25(水)-5月上旬	
	2.福田平八郎	秋の風物 -11/27(日)	冬の風物 11/29(火)-1/22(日)	冬・初春の風物 1/25(水)-3/19(日)	
	3.郷土作家	愛媛の二科会画家たち -1/22(日)		愛媛の具象彫刻 1/25(水)-5月上旬	
ハイビジョン ギャラリー	上映時間 ①10:30 ②13:30 ③15:30 ※プログラムは館内に掲示しています。				企画関連プログラム上映予定
県民ギャラリー (南館)					第3回講座&アトリエ展 2/7(火)-2/16(木) P.3
分館					めでたきかたち-吉祥と寿ぎの美 P.2 1/14(土)-3/12(日)

普及事業					
実技講座			●めざせ!! 匠 ※A・Bいずれかを選択 A 12/3(土)・1/9(月・祝) B 12/4(日)・1/9(月・祝) 各1日目 14:00~16:00、 各2日目 13:00~16:00 小学生以上・A:50名、B:20名		●展覧会ができるまで ~講座&アトリエ展をつくろう~ 2/4(土)・5(日) 各10:30~16:00 (全2回) 中学生以上・15名
美術講座				●「ダリ」の宇宙とシュルレアリスムの 巨匠展」まるごと講座 2/26(日) 10:00~12:00 高校生以上・60名	
美術体験講座	●ミュージアム・ウォッチング ~びっくり!!を探そう~ 11/23(水・祝) 13:30~15:00 小学3~6年生・20名	●パンでつくるクリスマスかざり 12/17(土) 10:00~15:30 親子・10組(2人1組)		●ダンボール小屋を作ろう 2/4(土) 13:30~16:00 小学4~6年生・20名	
学芸員によるギャラリートーク 14:30~	●11/12・19 野間仁根の人と芸術【企画展】 ●12/10・17 松山藩絵師「松本山雪」について 【常展1】	●1/14 名作・名品に隠された歴史ありパート2 【常展及び企画展】 ●1/21 もの派の作家たち【常展3】	●2/11 静物画の魅力を探ろう【常展2】 ●2/18 もの派の作家たち【常展3】		

TOPICS.1

館蔵品による特集展示 野間仁根展

郷土を代表する洋画家の一人である野間仁根を特集して展示しています。当館所蔵の洋画に加えて、今治市吉海郷土文化センターなどの協力を得て、これまで知られる機会の少なかった日本画・書・工芸についても紹介します。本展により彼の画業を再認識し、また新たな魅力を発見できることと思います。

小川未明話集「大きな蟹」より
《月夜と銀鏡》挿絵、昭和15年(1940)
今治市吉海郷土文化センター蔵



TOPICS.2

美術館開館記念日 11/27(日)

美術館では開館記念日に講演会やダンボールでオブジェ作りなど、楽しい企画を用意して、皆様のお越しをお待ちしております。また、当日は、展覧会の観覧料は無料となりますので、この機会をお見逃しなく。

ご利用案内 ■開館時間:9:40~18:00(入室は17:30まで) ■休館日:毎週月曜日(祝日及び振り替え休日に当たる場合は、その翌日)、12/29~1/3

アトリエ 利用時間 9:40~18:00

創作活動のできるスペース、アトリエはどなたでも自由にご利用いただけます。お申し込みは、お電話か、直接来館して予約してください。

- 利用内容:版画・木工・染織・写真・粘土など
- お問い合わせ先:ふれあいアートセンター tel.089-932-0147

講堂・研修室・県民ギャラリー

講演会、研修、作品発表の会場として講堂(定員120名)、研修室(定員56名)、県民ギャラリー(12室)がご利用いただけます。料金等、詳細については、当美術館総務課まで、お問い合わせください。

【交通案内】

- JR松山駅前より道後温泉または市駅前行き市内電車で5分。「南堀端(愛媛県美術館前)」下車、徒歩1分。
 - 松山観光港よりリムジンバスで30分。「市駅」下車、徒歩5分。
 - 松山空港より車で20分。
- ※駐車場は、県庁西駐車場を利用することができますが、駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関等のご利用をお願いします。

休館日のお知らせ

平成18年3月まで、
毎月第1月曜日開館、
翌火曜日休館を試行します。



愛媛県美術館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
TEL 089-932-0010 FAX 089-932-0511
<http://joho.ehime-iinet.or.jp/art/>



ハトの声(編集後記)

今月よりボランティアによる作品ガイドが始動しました。展示室で作品の前に鑑賞者との対話が繰り広げられます。美術館日記でも紹介しているように、職員以外のみなさんに美術館は支えられて動いています。そういった方々の生の声も紙面で紹介していきたいと思っています。(M.I.)

